

2022 年度挙行日本セーリング連盟定期表彰
実施要項(敬称略)

1. 表彰式 期日:2023 年 1 月 28 日(土) (JSAF 懇親会の冒頭にて開催)
2. 表彰対象者の該否確認手続き
連盟表彰候補者を推薦する資格を有する理事、委員長、加盟・特別加盟団体代表宛 総務委員会発信「2022 年度挙行定期表彰等に係わる件(受賞候補者推薦依頼)」の回答結果に基づき取り纏めを行った。

3. 表彰の種類及び審議対象者等

(1) 勲功賞 :

① 選考対象(基準)

- ア、年齢…70 才以上(原則として故人は制限無し)
- イ、対象…当連盟会長等
- ウ、回数…生涯一度限り

②表彰対象者

河野 博文 (カノ ヒロブミ)氏 故人(2022 年 11 月 5 日逝去、享年 76 才)

推薦理由 : 2011 年～2021 年までの10年間当連盟会長を務められた。この間、公益財団法人への移行のための諸準備を統括し、2011 年に移行を完了させた。2020 年東京オリンピック競技大会招致活動には、公益財団法人日本オリンピック委員会副会長として参画し、招致成功に尽力するとともに、同大会セーリング競技の日本側運営の統括責任者としてこれを無事に完遂させた。日本セーリング界の発展に尽力し功績は多大である。

(2) 功労賞 ::

① 選考対象(基準)

- ア、年齢…60 才以上(原則として故人は制限無し)
- イ、対象者
 - ① 連盟役員及び、執行部門委員長等の通算在任期間が重複しない 20 年以上の者。
 - ② 加盟団体、特別加盟団体の理事長等以上の通算在任期間が 10 年以上であって、執行部門の委員長等の理事及び水域協会長 を含む重複しない通算在任期間 20 年以上の者。
 - ③ 上記①及び②全ての役職通算在任期間が重複しない 20 年以上の者。
 - ④ 組織統合後の対象要件期間が相当年数含まれていて、統合以前の功績在任期間とを通算して重複しない通算期間を満たしている者。
 - ⑤ 連盟現職員等は 15 年以上の者。
 - ⑥ セーリングヨットの設計、建造、普及その他連盟関係業務に格別の功績があった者。
 - ⑦ 上記年限を満たさない場合であっても功績が著しい場合は、理事会で審議することがある。

ウ、回数 : 生涯一度限り

②表彰対象者の審議……………1名

ア、山岡 閃 (ヤマオカ セン)氏、年齢 81 才

推薦元 : JSAF 外洋内海、兵庫県セーリング連盟

推薦理由 : 1980 年から大阪府ヨット連盟理事として、2005 年から外洋内海理事として 40 年以上に亘って水域のセーリングの発展に携わってきた。さらに、ジャッジ・レースオフィサーの育成等指導者的立場を担ってきた。また、ジュニア・セーラーの育成には 20 年以上携わり、オプティミスト級ヨーロッパ選手権等の選手団代表、監督、コーチを務めてきた。

永年日本セーリング界の発展に寄与された功績により推薦する。

主なスポーツ団体歴は下記のとおり。

- ・大阪府ヨット連盟 理事 (1980 年～1999 年)
- ・大阪市ヨット協会 理事長 (1994 年～1999 年)

- ・JSAF 外洋内海 理事（2001 年～）
- ・日本セーリング連盟 評議委員（2011 年～）

(3) 功績賞：

① 選考対象(基準)

ア、年齢……不問

イ、対象者 ① クラブの設立及び発展に尽力され、セーリングの普及に功績があった者。

② 大会の設立及び発展に尽力され、セーリングの普及に功績があった者。

③ セーリングヨットの設計、建造、普及に功績があった者。

ウ、回数：当該年度毎に1度限りとする。次年度以降新たな業績対応で、繰返し候補となることはある。

②表彰対象者の審議………1名

ア、横山 一郎（ヨコヤマ イチロウ）氏、年齢 77 才

推薦元：三浦外洋セーリングクラブ

推薦理由：1967 年から永年にわたり外洋ヨットレースに参加するとともに、多種多様のヨットの設計を行い、外洋帆走界の発展に寄与された功績により推薦する。

また、2022 年 6 月には、海洋冒険家の堀江謙一氏が、横山氏が設計した 19ft のアルミ製ヨット「サントリー・マーメイドⅢ号」による世界最高年齢での小型ヨットによるサンフランシスコから和歌山県・日ノ御崎への単独無寄港太平洋横断を達成し、ギネスに認定され、外洋ヨット界の認知度向上に尽くされた。

主なスポーツ団体歴は下記の通り。

- ・アメリカズカップ挑戦艇デザインチーム・チーフデザイナー（1987 年～2000 年）
- ・外洋湘南常任委員会・技術委員長（1999 年～2019 年）
- ・セーリングスピリッツ協会 技術アドバイザー（2001 年～）

(4) 優秀指導者賞：

①選考対象(基準)

ア、年齢……不問

イ、対象者…原則として現在も引き続き活動中の個人或いはグループ。但し勲功賞或いは功労賞等受賞者は対象外とする。

① 中長期にわたり継続的に選手の育成に努め、優秀な選手を輩出している監督・コーチ。

② 指導者、医・科学面からサポートしているドクター・トレーナー等スタッフ。

③ 永年にわたる社会体育或は地域スポーツの普及振興に極めて大きく貢献している指導者。

④ 地域のクラブの指導者。（企業・学校等のクラブで指導経験 15 年以上の者）

ウ、回数：当該年度毎に 1 度限りとする。次年度以降 新たな業績対応で繰返し候補となることはある。

②表彰対象者の審議………1名

ア、原田 浩二（ハラダ コウジ）氏、年齢 76 才

推薦元：一般社団法人 日本ジュニアヨットクラブ連盟

推薦理由：永年にわたりジュニアセーラーの指導育成に携わりながら、国内外のジュニアヨット選手権の開催に尽力し、ジュニアセーラーの競技力向上に輝かしい実績を上げられた功績は多大である。

主なスポーツ団体歴は下記の通り。

- ・全日本 OP 級ヨット選手権 実行委員長（1999 年～）
- ・日本ジュニアヨットクラブ常任理事（2016 年～）
- ・JSAF 障がい者セーリング推進委員会委員（2018 年～）
- ・NPO 法人セイラビリティ江の島 理事長（2022 年～）

(5) 栄光賞：

①選考対象(基準)

ア、オリンピック競技大会………入賞

イ、世界選手権大会…………優勝

ウ、特定外洋競技並びに航海等…………優勝又はそれに匹敵する業績等

(注)別途定めた競技大会等並びに航海等

エ、回数：当該年度毎に1度限りとする。次年度以降 新たな業績対応で繰返し候補となることはある。

②表彰対象者の審議(順不同)…………1名

ア、堀江 謙一(ホリエ ケンイチ)氏

推薦元：日本セーリング連盟 外洋常任委員会

推薦理由：2022年3月27日から6月4日まで、「サントリーマーメイドⅢ号」で、サンフランシスコ～和歌山県・日ノ御埼まで、世界最高年齢での単独無寄港での太平洋横断を達成し、ギネスの世界記録にも認定された。セーリングが若者だけのスポーツではなく、幅広い世代のスポーツであることを日本中に広くアピールした。

(6) 優秀競技者賞：

①選考対象(基準)

ア、オリンピック競技大会…………10位以内

イ、世界選手権大会…………3位以内

ウ、アジア大会…………優勝

エ、特定外洋競技並びに航海等…………10位以内又はそれに匹敵する業績等

(注)別途定めた競技大会等並びに航海

オ、国際競技大会…………優勝

カ、当該年度の優秀選手(国体を含む)

キ、回数：当該年度毎に1度限りとする。次年度以降、新たな業績対応で繰返し候補となることはある。

②表彰対象者の審議…………14名

ア、後 藤 凜子(ゴトウ リンコ)氏

推薦元：オリンピック強化委員会

推薦理由：2022年度 Youth World Championship 29er 女子において、銅メダルを獲得した。
2022年度 29er World Championships 女子 において、銀メダルを獲得した。

イ、市橋 愛生(イチハシ マナセ)氏

推薦元：オリンピック強化委員会

推薦理由：2022年度 Youth World Championship 29er 女子において、銅メダルを獲得した。
2022年度 29er World Championships 女子 において、銀メダルを獲得した。

ウ、小山田 柊平(オヤマダ シュウヘイ)氏

推薦元：一般社団法人 日本ウインドサーフィン協会

推薦理由：2022年10月、Techno293 全日本選手権 U17において、優勝した。
2022年11月、Techno293 世界選手権 YOUTH BOYS U17 において、3位を獲得した。

エ、チーム Siesta(シエスタ)

今井 信行(イマイ ノブユキ)氏 和田 大地(ワダ ダイチ)氏 加藤 文弥(カトウ フミヤ)氏

出道 耕輔(デミチ コウスケ)氏 中川 大河(ナカガワ タイガ)氏

推薦元：日本J/24協会

推薦理由：2022年J/24世界選手権において、3位を獲得した。

オ、チーム 月光 DIANA(ゲツコウ ダイアナ)

市川 航平(イチカワ コウヘイ)氏 小島 広久(コジマ ヒロヒサ)氏 山下 美香(ヤマシタ ミカ)氏

川村 岳(カワムラ ガク)氏 森 俊介(モリ シュンスケ)氏 杉貴 陽二郎(スギキ ヨウジロウ)氏

推薦元：日本J/24協会

推薦理由:2022 年 J/24 北米選手権において、3 位を獲得した。

(7) 感謝状:

① 選考対象(基準)

特定大規模の連盟関与事業遂行において極めて大きく貢献をした者或は団体等に対し、謝意を現すために贈呈する。
(連盟表彰規程第 2 条(10))

② 感謝状授与対象者の審議……8団体及び19名(別紙名簿参照)

推薦元 :公益財団法人日本セーリング連盟

推薦理由:2022年 10 月 20 日から 10 月 23 日まで、広島県広島市の広島観音マリーナで開催いたしましたワールドセーリング、国際ハンザクラス協会、日本ハンザクラス協会及び当連盟共催の「2022ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ&パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島大会」が、成功裏に終わったのは、広島県セーリング連盟をはじめとする多くの方々、関係団体各位の本大会運営に対するご協力、ご支援によるものであり、感謝の意を表するため感謝状を贈呈する。

◎感謝状贈呈団体 (8 団体)

- ア. 株式会社ひろしま港湾管理センター 観音マリーナ
- イ. 朝日医療専門学校広島校
- ウ. 社会福祉法人三篠会
- エ. 株式会社オレンジ
- オ. セイラビリティ広島 あびの会
- カ. 公益財団法人 広島県パラスポーツ協会
- キ. 広島大学医学部ヨット部
- ク. 広島大学体育会ヨット部

◎感謝状贈呈個人(19名) (別紙名簿参照)

以上

感謝状贈呈者

	氏名	ふりがな	所属団体 大会参加履歴
陸上運営・ボランティア			
1	土田 芳裕	つちだ よしひろ	(公財)広島県セーリング連盟 大会事務局長
2	豊澄 美希	とよずみ みき	(公財)広島県セーリング連盟 大会会計 県市との渉外 後援申請
3	小菅 加代子	こすが かよこ	(公財)広島県セーリング連盟 大会会計 経理責任者
4	山根 恒弘	やまね つねひろ	(公財)広島県セーリング連盟 大会実行委員長
5	沖田 勇三	おきた ゆうそう	(公財)広島県セーリング連盟 大会実行副委員長
6	藤田 博久	ふじた ひろひさ	(公財)広島県セーリング連盟 大会総務局長 報道、SDGsレース、表彰担当
7	明木 一悦	めいき かずえつ	(公財)広島県セーリング連盟 大会総務局 通訳担当
8	西野 倫代	にし の みちよ	(公財)広島県セーリング連盟 大会総務局 ボランティア・送迎担当
9	坂本 美代子	さかもと みよこ	(公財)広島県セーリング連盟 大会総務局 SDGs、総務責任者
10	平賀 裕之	ひらが ひろゆき	(公財)広島県セーリング連盟 大会医療看護局統括責任者
11	高垣 一之	たかがき かずゆき	(公財)広島県セーリング連盟 大会施設局長
12	吉川 厳一	きっかわ げんいち	(公財)広島県セーリング連盟 大会競技局長
13	大原 博實	おおはら ひろみ	(公財)広島県セーリング連盟 大会競技局 競技運営責任者
14	中崎 篤	なかさき あつし	(公財)広島県セーリング連盟 大会競艇局長 レース艇発着責任者
15	栗原 義則	くりはら よしのり	(公財)広島県セーリング連盟 PDP統括者
16	井川 史朗	いかわ しろう	(公財)広島県セーリング連盟 大会実行委員会統括 NOR作成
17	伊藤 通祐	いとう みちすけ	株式会社みずま工房 大会総務局 広報PR担当
ソフトウェア開発			
18	川上 幸久	かわかみ ゆきひさ	一般社団法人パラセーリング東京 競技結果集計ソフトウェア開発
19	佐藤 零旺	さとう れお	ビジネスブレイクスルー大学 大学生 SDGsレース用のソフトウェア開発